タグラグビーとは・・・・?

タグラグビーは、むずかしい技術は何もいらない!

だ円型のボールを持って前に走り、タグを取られたら味方にボールをパスするだけ! キックやドリブルもないから、スポーツが苦手な人だって女の子だって大丈夫! 腰に付けた2本のひらひらしたタグを、お互いに取ったり取られたりしながら、ボールを持って



著作権者 (財団法人日本ラグビーフットボール協会)

第7回 島原タグラグビーフェスタルール (小学生用簡略版)

簡単なルールだよ!(特に の所は大事だよ)

- ① グラウンド真ん中から、自分より後ろの味方にパスしてゲームスタート。
- ② 1 チームの人数は 5 人。試合時間は前半 5 分、後半 5 分、ハーフタイム (休けい) は 1 分だよ。前半と後半でコートチェンジをしよう。
- ③ メンバーは、いつでも自由に交代できるよ。
- ④ 相手チームの場所にボールを運んだら1点。(ボールを地面につけなくてもいい)
- ⑤ タックルが無いので、女の子にもおすすめ!
- ⑥ 主なルール (これだけ覚えておけば大丈夫)



- ○攻撃は、4回できるよ。
 - ※つまり、タグを合計4回取られるまでに、相手の場所にボールを運ぶ。
- 〇相手のタグを取ったら, 「タグ!」と大声で言う。
- ○取ったタグは、相手にていねいに返すこと。※「パッ」と投げ返して、すぐにゲームに参加することはできない。
- ○点が入ったら, 真ん中からスタート。
- ○ボールを持った人のタグが、自然に落ちたら、その場からやり直し
- ⑦ の反則はしないように注意しよう。

主な反則

- ○体の前に、ボールを落とす。(後ろは大丈夫)
- ○自分より前にいる味方へのパス。(自分の横か後ろにパスしよう)
- タグを取った選手が、相手の人やボールを前でじゃますること。 (取ったタグを相手にきちんと返すまで、ゲームに参加できない)
- ○しんぱんが「タグ」と言っているのに、パスもせずにそのまま走る。
- ○相手のボールを、うばいにいくこと。
- 〇相手をたたいたり、けったりすること。(相手の体はさわらないこと)
- ○タグを取りに来た相手の手を、はたく。(相手の体はさわらないこと)
- ○タグを取られまいと、クルクル回りながらの危ない走り方。
- ⑧コートは横30m×縦40mです。(パートによって異なります)
- ⑨この大会は、サントリーカップ全国小学生タグラグビー選手権のルールとちがい、 初心者でも気軽に参加できて楽しめるルールを目標とします。

## _ _	14 1 → 1 10 m 10 . 1		<u> </u>		\1	
蛮 7 lnl	島原タグラグビーフェスタ		7		1	E
炉 (凹	一面 ホグソ ノソ しょ ノ エ ハグ	7				
210	1.474		4 P	<u> </u>	4	

チーム名

私の責任のもと 平成 2 4 年 月 第 7 l	,標記大会への参加を申し込みます。 日 回 島原タグラグビーフェスタ代表者 森田洋輔 殿
責任者(監督)名	印
連絡先	※大会当日や事前連絡等に使用します。FAX・携帯電話をお持ちの方は番号記入をよろしくお願いします。特にFAX・メールで事前連絡に使いますので必ずご記入ください。
住所	必ず!
FAX番号	必ず!
携帯番号(当日用) メールアドレス	

番号	学年 (年齢)	氏	名	学校名((職場)	備考	(○を)
1							
2							
3							
4							
5							
6							
7							
8							
9							
1 0							

- 1)登録は5名以上10名以内であれば、何名でも結構です。2)学年・年齢欄は、小学6年生であれば「小6」、一般の方は年齢をご記入ください。3)ラグビー経験者は、備考の欄に○を付けてください。グループ分けに使います。4)タグベルトを持っているチームは、ご持参のご協力お願いします。固定スパイク可。

第7回 島原タグラグビーフェスタ

参加申込書と一緒に提出してください!

チームプロフィール

①チーム名	
チーム責任者名、及び携帯番号	
名前	
携带番号	

②チーム紹介 (クラス・職場・職域・仲間の関係など)

(例; ○○保育園の保母です。毎日楽しく子ども達と一緒に学んでいます。)

③今日がんばること (目 標など) (例;全員1トライを目指しています。)

④その他(参加のきっかけ・今後のご要望など)(例;クラスの友達が一緒にしようと言ってくれました。)

※ 大大会当日、試合進行や、各チームの紹介や、繁急時に使用します。大会終了後、いただきました個人情報等は、大会責任者である森田が責任をもって処分いたします。フェスタに参加する選手の肖像権ならびにそれに付随する全ての権限は主催者にあるものとします。公式ウェブサイト内の掲出や、次年度の大会用ポスターおよびプログラム等に使用される可能性があります。